

景観からみる池袋チャイナタウン

筑波大学大学院生命環境科学研究科 山下 清海

1. はじめに

今日、欧米の都市をみると、香港人や台湾人に加えて、中国の改革開放政策実施以後、来住したいわゆる「新華僑」(華人ニューカマーズ)の増加に伴い、旧来の伝統的なチャイナタウンとは別に、新しいチャイナタウン(ニューチャイナタウン)が各地で形成されている。東京でも、1990年代以降、池袋駅北口周辺において、新華僑による中国料理店、中国食品店をはじめ各種店舗の開業が増加している(図1)。これまでの日本三大中華街(横浜中華街・神戸南京町・長崎新地中華街)とは異なるタイプのニューチャイナタウンの誕生として、筆者は2003年8月、月刊「地理」誌上において「池袋チャイナタウン」とい

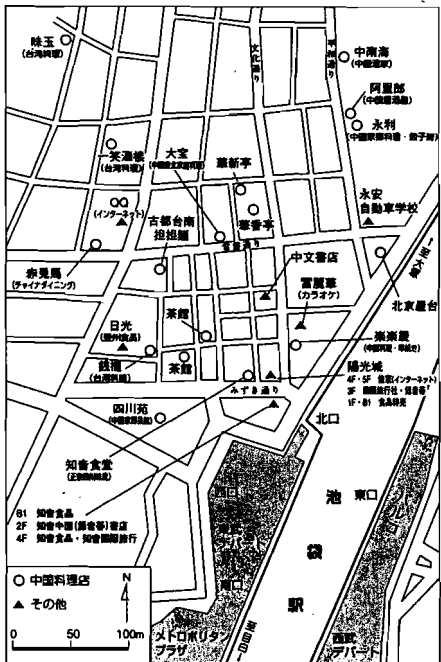


図1 池袋チャイナタウン(山下清海編「華人社会がわかる本」2005年、明石書店)

う呼称を初めて提案した。ここでは、景観からみた池袋チャイナタウンの特色について考察する。

2. 雑居ビルの中の店舗

池袋チャイナタウンの玄関口は、池袋駅北口である。池袋駅地下街から階段を上がって池袋駅北口に出ると、いつも多くの人たちが待ち合わせをしている。待ち合わせの人々や通りを歩いている人の中には新華僑が多いのであるが、見かけからは新華僑と日本人を識別することは容易ではない。夜になると、池袋、大塚、赤羽、さらには川口、蕨、さいたまなどの埼玉県に居住している新華僑が、帰宅の途中、交通が便利な池袋駅北口に集まってくる。昼よりも夜に訪れる方が、池袋チャイナタウンのチャイナタウンらしさが実感できる。

池袋チャイナタウンは、まだ萌芽期にある。地上のみを歩いていると、素人目にはチャイナタウンが見えにくい。経済的に余裕がない新華僑は、いきなり雑居ビルの1階に店舗を構えることは難しい。特に、池袋駅北口に近いテナント料の高い場所では、まずは、雑居ビルの上階や地階に中国料理店、ネットカフェ、レンタルビデオ店などを開業する。

みずき通りの「知音」(写真①)は、池袋チャイナタウンの中心をなす商業施設の一つである。「知音」がこの場所で開業したのは、1991年である。2階に



中国書店、4階に中国食品、旅行社、中国料理店が入っている。店内に入ると、そこは全くの中国世界である。池袋チャイナタウンを訪れる新華僑は、ここで



中国語のフリーペーパー「知音報」を入手する。「知音報」には求人情報をはじめ新華僑に役立つ情報が掲載されている。

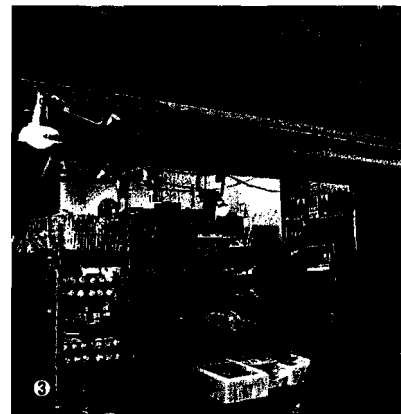
日本人客にとって、窓もない地階の中国料理店(写真②)に降りていくのは多少の勇気がいるかもしれないが、このような料理店こそ、日本化してない本物の中国料理を味わうことができる。写真②の左隣の「知音食堂」(地階)も四川料理の店として、新華僑の間ではよく知られている。

雑居ビルの上階を注意してみれば、新華僑が経営する中国武功、中国式エステ、カラオケ、美容院、鍼灸院、自動車学校事務所などの店舗が多数みられる。池袋チャイナタウンにおいて、華人関係の店舗は70あまりにのぼる(2007年3月調査)。

3. 看板から読み取る

「知音」と道路を挟んで対峙する「陽光城」(写真③)は、1階と地階に食品、2階に携帯電話販売店が入っている。100円の黒酢、350円の紹興酒などが店頭と並ぶ。中国から輸入した食品の安売り店として知られる「陽光城」の看板には「24時間営業、年中無休」と書かれている。新華僑の場合、時給のよい夜間に働いている者が少ない。池袋チャイナタウンでは、夜の遅い時間帯になるほど、新華僑の比率が増す。新華僑経営の中国料理店の中には、「営業時間PM4時~AM4時」という看板にみられるように、始発電車が走り始める早朝まで営業している店も目立つ。

写真④は、最近の池袋チャイナタウンの特色をよく示している。看板には「中国東北家庭料理」と書かれている。1980年代~90年代、東京の新華僑の多くは、



上海市や福建省の出身者が多かったが、その後、遼寧・吉林・黒竜江などの東北3省出身者の増加が著しくなった。旧満州である東北地方は、日本語学習が盛んな地域であり、朝鮮族が多い地域でもある。朝鮮語と日本語は文法が近く、朝鮮族にとって、日本語は学習しやすい言語である。2000年代に入り、池袋駅北口周辺では、東北料理店が急増している。朝鮮族が好む犬料理を味わえる店もある。

池袋チャイナタウンの中国料理店の多くは、最近、積極的に日本人客を取り込もうとしている。写真④の店の入口横にも、日本語で書かれたメニューの写真(その中には「蚕の唐揚げ」もある)が掲げられて

いる。本稿では、紙幅の関係で、池袋チャイナタウンの詳細については、残念ながら論じることができなかった。関心のある方は、筆者のホームページ(<http://www.sakura.cc.tsukuba.ac.jp/~yamakiyo/>)に掲載している「池袋チャイナタウン・ガイド」(ダウンロード可能)をご覧ください。

